

## 令和元年度 第15回「まちづくり会議」概要 宮保地区

日 時：令和元年8月31日（土） 14：00～15：15

場 所：宮保公民館

参加団体等：町内会長会、地区振興会、体育協会、老友会、壮年会、防犯協会、交通安全協会、公民館長、町会連合会理事、民生委員・児童委員、主任児童委員、子ども会指導者連絡協議会、宮保青年会、宮保ボランティアグループ代表など

### 発言【1】

市道 E10 号線の工事の進捗状況について

#### 【市】

市道 E10 号線は平成23年に事業の検討に入り、予算の状況にもよりますが、来年度（令和2年度）の完成を目指しています。交通量の多い交差点につきましては、標示看板、道路標示を整備し安全な道路の構築に努めます。

### 発言【2】

野球場の建設スケジュールについて

#### 【市】

松任駅北相木第二地区土地区画整理事業が始まって、都市計画道路の建設が進むと、令和3年の秋には相木の野球場が使えなくなる予定です。

硬式野球場の建設につきましては、それに合わせ令和2年度より着工し、令和4年度春に竣工予定です。

### 発言【3】

意見交換会での地域の声を生かした道路等環境整備について

#### 【市】

リサイクルセンター等の施設がきちんと整備されていることで、ゴミの無料収集が継続されることは、全体の利益につながっていくことであり、このことは広く市民や、野々市、川北の住民の皆さんにも伝えていこうと思っています。

クリーンセンターまでの道路については、大型車両等が通り危険な状態であれば市からも安全運転を要望いたしますし、道路改築等が必要であれば、順次対応していきたいと考えています。

今後も、まちづくり会議でいただいた皆さんの声を市政にできるだけ反映させ、

「対話と参加」の市政運営に努めてまいりたいと考えています。ただし、市全体の進捗状況や限られた予算を考慮しながらやらせていただくことも、ご理解いただきたいと思います。

#### 発言【4】

白山総合車両所を活用した地域の活性化について

##### 【市】

北陸新幹線の回送車を利用したツアーや乗降のご提案につきましては、白山総合車両所内に安全に乗降ができる駅が必要です。しかしながら、車両所を運営するJR西日本からは車両所内の安全管理上、実現は極めて難しいと聞いています。

現在、ビジターセンターが自民党PTの中で議論され、まずは建設されることが重要であり、車両所内の乗降施設については、ビジターセンター建設後のニーズも踏まえての議論になると考えています。

#### 発言【5】

危険な通学路について

##### 【市】

毎年、PTA等が実施した通学路危険箇所の点検結果を基に、改善要望があり、これを受け、通学路安全推進会議を開催し、関係機関による通学路の合同点検、対応策の検討等を実施しています。

通学路の安全確保のため、信号機の設置要望が多くありますが、信号機が設置できない場所は、道路管理者により交差点の色を変えたりして、ドライバーに注意喚起をしています。

#### 発言【6】

①通学路のグリーンベルトの設置について

②信号のない交差点の対策について

##### 【市】

①グリーンベルトの設置については、市内一律で学校より500m以内としていますのでご理解をお願いします。

②市道宮保徳光線と市道E196号線の交差点は、宮保徳光線が優先道路で市道E196号線は「止まれ」の表示が設置されています。

しかし、事故が多発していることから、町内会の要望を受け、10月からレンガ

色のカラー舗装により交差点の注意喚起の標示を行っています。より一層交通安全に心がけていただきますようお願いします。

## 発言【7】

高齢者の方が住みよい社会を創るために（研修会の企画）

### 【市】

H30 年度に「超高齢社会の民生委員の役割」と題して、民生委員の研修会を実施しました。この研修は、助ける側だけが福祉活動なのではなく、助けられる側からも助けてという発信をしていこうという内容のもので、高齢者自らが発信することの大切さを学ぶ機会となりました。

また、市では、町内会に対して地域ふれあいサロンや介護予防体操に取り組む市民主体の通いの場の設置を進めています。それらを上手く活用し、皆さんが集まってお互いに話し合いやいろいろな活動を一緒にする場を提供することで、もっと素直な声が聞けるのではないかと考えています。

これからも各地区の社会福祉協議会や地域包括支援センターとも連携しながら、民生委員や福祉協力員の研修会の支援や高齢者の視点立った内容についても検討をしてまいります。

### 【市長】

宮保地区と笠間地区の公民館がいよいよ建て替えという時期になってきました。スケジュールとしては、令和2年度に実施設計をして、令和3・4年で完成することになっていきます。設計に入る段階には、どういう形がいいのか、また地域の皆さん方と将来的なことも考えながら検討してまいります。